

イツモの備え、 モシモの備え

南海トラフ地震発災時、
水道と電気の復旧には**4日以上**…
あなたはその間、**生き延びる**ことができますか？

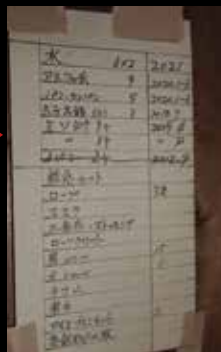


大正地区在住
田辺り子さん

田辺さんの備蓄のこだわりは、一般的に言われるように、玄関や寝室には備蓄品を置かず、小屋や物置など分散して用意していること。なぜなら、避難する際に、そんなものを持って逃げる余裕がないからだといいます。「避難後、状況が落ち着いたら、備蓄品は取りに戻れば良いと思っているの。」

自ら備蓄品を用意し、その重要性を近隣へ呼びかけている田辺さん。しかし、中には「どこでどのようにして購入したらよいか分からない」という高齢者の声をきくという。誰でも個人備蓄ができるような工夫が必要だと訴えていました。

食糧や下着など何種類もの生活用品などを備えているだけでなく、更にそれをリスト化し、賞味期限まで分かるように管理しています。



被災地で特に必要とされたもの

- ☐ 水、非常食（食べ慣れたもの）
- ☐ 常備薬、おむつ
- ☐ 懐中電灯、充電式ラジオ
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ カセットコンロ・ボンベ
- ☐ ビニール袋（大・小）

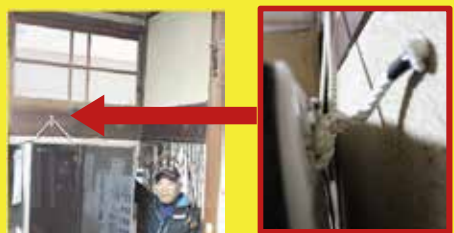


一人も災害で命を落としてほしくない

日頃から何でもみんなが協力して助け合う意識が非常に強い口大道地区。一人も災害で命を落としてほしくない、助かることを諦めてほしくない、災害に負けないそんな強い思いが、地域を守る原動力となっています。

自分の命は自分で守る。基本ではありませんが、防災には地域の方々の存在も欠かせません。自助を応援する地域の支えも今後ますます必要となります。

来月号では、**共助をテーマ**に地域を守ろうと頑張るひとたちを特集します。



ロープを駆使し、**試行錯誤**して固定した冷蔵庫。住宅事情に合わせた固定方法を考案。



大きなタンスは長い**L字金具**が有効。このような金具類はホームセンターなどで入手可能。

特集

しまんと防災

シリーズ

1/3

自助編

—自分の命は自分で守る—

普

段使用する家具や家電は災害時には凶器にもなります。

家具固定は命を守る自助の要とも言える対策ではありませんが、取付け作業を面倒に感じることも少なくありません。

そこで、地域住民らの協力のもと家具固定を率先して実施した、口大道地区を取りました。

全戸で家具固定

口大道地区では、平成28年度に22軒ある全戸で家具固定を実施。この取り組みは災害時のけが予防や避難の妨げを解消するだけでなく、備えの意識を高める啓発活動にもつながったと、器具の取付作業の中心を担った口大道地区自主防災組織会長伊賀さんは話します。

家具固定は基本の「き」

阪神淡路大震災から25年。逃げる間もなく**一瞬**に、人々の命を奪ったのは、あなたの家にもある**家具・家電**でした。

「やってほしい」の声に応えて

すでに自分たちで家具固定を実施していた家庭もあったそうですが、高齢者世帯が多い口大道地区では家具固定の重要性は理解しているものの、「どうしたらいいのかわからない」「重い腰が上がりません」のうが実情だったといいます。

そんな雰囲気の中、伊賀さんたちは一軒ずつ訪問して呼びかけることからスタート。このように訪問し、家具固定の呼びかけや相談に応じる取り組みは、町内のほかの地区でも行われていますが、顔見知りの関係でないと互いに声をかけにくい場合があります。

日頃から親しい付き合いができていた口大道地区では「そんな制度があるならぜひやってほしい」「今、家の中を見てほしい」と大歓迎だったそうです。



四万十町 自主防災組織十和支部
口大道地区会長 伊賀 守 さん



ミライのしまんと防災リーダー

防災士ってご存知ですか？防災士とは講習を受講し認定試験に合格することでなれる、防災の意識・知識・技能を兼ね備えた、いわば防災のプロフェッショナルのことです。町では、各自主防災組織の推薦があれば受講料の3,000円を補助する制度があります。町内には現在80人を越える防災士がおり、今回は、四万十町で防災士を目指す若き防災リーダーのたまごを紹介します。

南海トラフ地震発災時、人の役に立ちたい！

強い正義感を胸に防災士を目指しているのは、窪川中学校1年、川村麟之介さん。災害時に人の役に立ちたいという思いのもと、現在勉強中です。防災士の勉強に難しさを感じるものの、避難所における防災士の役割や南海トラフ地震の津波の脅威が理解できたといいます。また、その過程で「テレビなどで災害の報道がされていると理解できるようになってきたし、意識して観るようになった。」と防災への関心度が高まっている様子。自助から共助へとつながり、しまんと防災を引っ張る、貴重な人材です。

窪川中学校1年
川村 麟之介 さん



知らないともったいない！ 家具転倒防止対策補助金

家具固定を行う際、各地区の自主防災組織を通じて、一世帯あたり上限**5,000円**の補助制度があります。

Q.どの家具を固定していいかわからない！

A. 町主催の講習を受講した自主防災組織の方が各家庭を訪問し、取付家具のアドバイスをします。

Q.自分で取付作業ができない場合は？

A. 大丈夫です。お住まいの地域の自主防災組織の方があなたに代わって取り付け作業を行います。詳しくは危機管理課までお問い合わせください。

危機管理課 ☎ 22 - 3280

居間で過ごすことが多いから、棚を固定



薄型テレビも揺れて吹っ飛ぶって聞いたから、ジェル状のマットで固定



家具の固定は家族の笑顔に

家族や孫が良く集まるから、固定をして安心！



口大道地区在住 芝さんご夫婦